

いよいよ明日から夏休みです。Ⅰ学期の振り返りをしっかり行い、2学期に向けて計画的な夏休みを過ごしてほしいと思います。

さて、今日はこのⅠ学期を振り返って思ったことについて、少しお話ししようと思います。

今年は学校農業クラブの全国大会が10月に岩手県で開催されます。東北では令和元年に山形県を含む南東北三県で開催された全国大会以来の開催となります。この全国大会のリハーサル大会として、6月20日から21日まで岩手県連盟の意見発表会が盛岡市で開催されました。今回は山形県からⅡ類の審査員としてこのリハーサル大会に参加し、感じたことをお話しします。

今年から発表分野が新しくなり、Ⅱ類は国土保全・環境創造の分野となり、内容は①国土の保全や環境創造に関する意見、②森林資源の活用に関する意見となりました。

岩手県内の学校のどの発表にも共通していたのは「自分の住む地域や農林業への思いの強さ」でした。

例えば地域農業の課題である、農業従事者の減少や高齢化などに真摯に向き合い、農業の魅力をどう伝え、農業後継者をどう増やしていくのかについて考えた意見、地域の伝統工芸品の素晴らしさに出会い、その良さを向上させ、どう情報発信していくかという意見、地域林業の課題に対して、できることはないか、自分の進路を見据えて将来を語っている意見などがありました。自分の住んでいる市や町の、農林業をはじめとする産業や、その地域の伝統、魅力などを、どう伝え、発展させていくかを真剣に考えた内容の意見発表でした。

自分の住んでいる地域を再発見することは大切なことです。例えば、置農のある川西町にはどんな魅力があるでしょう。

川西町は置賜盆地の中心に位置し、豊かな自然に恵まれたところです。そのため昔から農業が盛んであり、米や米沢牛、紅大豆、地酒などの様々な特産品が生産されています。また、ダリアの生産や作家の井上ひさしさんのふるさととしても有名です。19世紀後半に川西町を訪れたイギリス人のイザベラ・バードは川西町を含んだ置賜盆地一帯の美しい田園地帯に感銘を受け、これを「東洋のアルカディア」と称賛したほどです。

皆さんの住んでいる市や町にもまだ気づいていない魅力がたくさんあると思います。よく自分の住んでいる地域には課題ばかりと、マイナス面ばかりがイメージされがちですが、地域の魅力などのプラス面に目を向けるのも大切なことだと思います。

この夏休みを利用して自分の住んでいる市や町を改めて見直し、その魅力を再発見してみてください。そして地域の魅力を向上し、発信していくためには何が必要かを考えてみてはいかがでしょうか。

夏休み明けの8月27日、28日には秋田県大曲市で農業クラブ

の東北大会が開催されます。本校からは意見発表、プロジェクト発表、平板測量などで東北大会に出場します。出場する皆さんには置農で学んだ成果を十分に発揮し、岩手で行われる全国大会の出場権を目指して頑張ってくださいと思います。

また、6月の東北大会でホッケー部が7年連続25回目となる北部九州インターハイへの出場を決めました。ホッケー部の選手の皆さんは、今日九州に出発しましたが、ホッケー部には山形県そして東北の代表として、置農の名を広め、置農の魅力を高めてきて欲しいと思います。

最後になりますが、昨日「明るいやまがた夏の安全県民運動」の街頭指導の後に、地域の方から「置農生の礼儀正しさに感動した」という話を伺いました。横断するときに止まってくれた車にいつも礼儀正しくおじぎをしてくれる、ということでした。また、街頭指導の方々からは置農生が大きな声で挨拶をしてくれた、などの話もありました。皆さん一人一人の行動を地域の方がきちんと見てくれているのだと思います。生徒の皆さんそれぞれが置農生という自覚をもってルールとマナーをしっかり守ってくれているのだな、と大変うれしく思いました。

置農生の皆さんには、夏休み期間中、ルールとマナーをしっかり守り、事故に気を付け、体調を万全にして、充実した夏休みになるよう様々な活動に主体的に取り組んで欲しいと思います。

2学期の始業式で一回り成長した皆さんの姿を見ることを楽しみにして、1学期終業式の式辞とします。